

< ねらい >

本学年の子どもは、どの教科の学習に対しても意欲的に取り組んでいます。しかし、途中で集中が切れてしまったり、友達の発言を聞くだけの受動的な姿勢で臨んでいたりする子どももいます。そこで、ICTを活用し、タブレットで写真や動画を見せたり、実物投影機で子どもの考えたものを映したりする活動を通して、「学んで楽しい」「もっとやりたいな」と、楽しみながら学習を進めていけるようにしたいと考えました。

< 活動の様子 >

7月に算数科の「ひきざん」の学習で実践を行いました。問題の場面を視覚的に捉えることができるようにアニメーションをつくり、授業の導入部分に取り入れました。問題に出てくる動物や食べ物の絵が動くと、「動くから分かりやすいね」などの反応を示し、集中して見ていました。動画を見ることで、問題を視覚的に捉え、「『食べた』ということは減るから引き算を使うんだ!」と数の増減を理解し、正しく立式することに繋がっていました。また、数図ブロックを操作する活動では、子どもの手元の操作をタブレットで撮影して全体で確認しました。子どもの手元を撮影することで、「僕と同じ動かし方だ」「そうやって考えたのか」など、見ている子どもが自分の考えと友達のとを比べていました。そして、互いの考えを受け入れたり認め合ったりすることができました。学習後には、「引き算の式の書き方が分かった」「問題が分かりやすかった」などの感想が聞かれました。

後期の実践では児童用タブレットを用いながら、楽しく学ばせたいと考えています。



【問題の動画を見ている様子】



【子どもの操作を映している様子】